

「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」
 (ヘブライ人への手紙11章1節)」

今年の8月に行われた「よしさプロジェクト」にて、石巻の大川小学校に訪問したときの事です。この小学校は東日本大震災当日、登校していた約70名の生徒のうち、助かったのは生徒4名と教職員1名という悲劇が起こった場所です。訪問後、この場所で当時小学6年生であったお子さんを天国に送ったSさんという方から話を伺いました。事前学習でSさんが記した3つの文章を拝見すると、そのすべてに「子どもの命に『意味付け』をしたい」との願いが添えられていたことが印象的でした。

人生は山あり谷あり、色々なことが起こります。その大変さの中に、一つでも良いから「意味を見出せるか否かが勝負」との思いがあります。皆さんが日頃受けている授業もそうでしょう。学生時代を振り返ると、卒業に必要な学びであることはわかっている、自分の中で意味付けができていないと、本当にやる気が起きなかったことを思い出します。しかしながら、東日本大震災で愛する子どもを失ったSさんは、想像を絶する悲しみの中で一度、生きる気力を失いつつも、現実を受け入れました。そして、お子さんの死を無駄にしないために、日本全国を飛び回り、講演や被災地の若者のサポートをしているとのこと。一体、何がSさんを元気づけ、突き動かすのでしょうか。

Sさんは天国でお子さんが笑顔でいる夢を見たことで元気づけられたことがあるとお話くださいました。自分の死を無駄にしないように頑張るSさんの活動を、天国で喜んでくれている。この「望んでいる事柄(見えない事実)を確信すること(ヘブライ11章1節)」、すなわち「信仰」によってSさんは元気づけられたのでしょ。例えば、イエス・キリストの誕生の際、父ヨセフも、夢に現れた天使の言葉を信じることで元気づけられたようです。皆さんも、落ち込んだときや辛いときには是非、全学礼拝で聞いた神の言葉を思い出してください。必ず元気づけられることでしょう。 (キリスト教センター主事 久保 哲哉)

2019年度年間聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 12節

12月月間聖句

キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

エフェソの信徒への手紙 5章 2節

チャペル開放について

授業期間中、月曜日の10時から16時までの間、静かにお祈りをする方のためにチャペルを開放しています。ご希望の方はチャペル正面玄関よりお入りください。

クリスマス映画会(チャペルシアター)

チャペルにて、以下の日程でクリスマスを題材とした映画を上映します。どなたでもご参加ください。上映作品は「東京ゴッドファーザーズ」(監督:今敏、2003年)です。

①12月6日(金)15時20分～ ②12月9日(月)13時00分～

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。

・12月5日(木) 民数記 23章 東野ひかり牧師 どなたでも自由にご参加ください。

全学礼拝期間について

2019年度秋学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。

秋学期/2019年10月1日(火)～2020年1月24日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあげさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出されたまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

12月3日(火)

奨励者 久保 哲哉
(キリスト教センター主事)
司会者 五十嵐 成見
奏楽者 ングワー路津子

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 21-575 番 1、2 節
聖 書 ヘブライ人への手紙
10 章 37~11 章 1 節
(新約 P.414)

祈 禱
奨 励 「見えない世界の扉が開く」
祈 禱
讃美歌 21-575 番 3 節
主の祈り
後 奏

12月4日(水)

奨励者 古谷野 亘
(心理福祉学部兼人間福祉学部長)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 出居 牧子

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 21-262 番 1、2 節
聖 書 ルカによる福音書
2 章 25~32 節(新約 P.103)

祈 禱
奨 励 「なにを待っていますか？
そして、、、」
祈 禱
讃美歌 21-262 番 3 節
主の祈り
後 奏

12月5日(木)

奨励者 AWANDU DORICE AWINO
(116D)
司会者 菊地 順
奏楽者 富岡 真奈
讃美リード 聖学院クリスチャン・フェローシップ(SCF)

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 “恵み again”
聖 書 エレミヤ書
29 章 11 節(旧約 P.1230)

祈 禱
奨 励 「将来と希望」
(God's Amazing plan for your life)
祈 禱
讃美歌 “恵みに押し出されて”
主の祈り
後 奏

12月6日(金)

奨励者 藤掛 明
(こども心理学科長)
司会者 久保 哲哉
奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 121 番 1、2 節
聖 書 箴言
22 章 13 節(旧約 P.1019)

祈 禱
奨 励 「失敗と言いつい」
祈 禱
讃美歌 121 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

☆☆☆リトリートのお知らせ☆☆☆

日時:2020年2月6日(木)~7日(金)

場所:森林公園ホテルヘリテージ(熊谷)



リトリートとは? 実行委員たちが考えたテーマをもとに、学生と教職員がひとつになって楽しいときを過ごします。笑いあり、涙あり、賛美あり、ゲームあり。おいしい食事と温泉で、心も体もリフレッシュするときを一緒に過ごしませんか! ?
参加希望者はキリスト教センターまでお問合せください!! 参加費:5,000円 (1泊3食付)

